

令和6年度 大学等の質保証人材育成セミナー vol.3
「いまさら聞けないDEI：高等教育の現場から」

性的マイノリティに対して インクルーシブな高等教育機関への転換 —まずここからはじめてみよう—

河野 禎之 筑波大学人間系

KAWANO Yoshiyuki
Institute of Human Sciences, University of Tsukuba

今日のトピック

1. 前提の話

組織でLGBTQ+に関する取組を進める前に共有しておきたいこと。
あるいは取組を進めるなかで忘れてはいけないこと

2. なぜ支援が必要なのか、 どのような支援が必要なのかを考える

・支援の意義は？そもそも支援とは？特に配慮すべき点とは？

よくある反応

「当事者はいるのか？」

当事者は周囲からは見えにくい

12~3人に1人 → 左利き・AB型とほぼ同じ分布

普通に日常にいるはずの状況

「いない」という状況

もっと重要なこと
「0」ではないということ

日本の情勢

多くの大学で基本理念と
対応ガイドラインが整備

国立大学協会・公立大学協会・
私立大学連盟 加盟校308校のWebページ
を検索した結果（2022年6月時点）

- ・ 具体的なガイドライン等のある大学
【45校（14.6%）】
- ・ ガイドラインを含め何らかの情報発信
【113校（36.7%）】

渡邊・橘熊・河野（2023）



義務教育→高等教育→社会へ

今日のトピック

1. 前提の話

組織でLGBTQ+に関する取組を進める前に共有しておきたいこと。
あるいは取組を進めるなかで忘れてはいけないこと

2. なぜ支援が必要なのか、 どのような支援が必要なのかを考える

・支援の意義は？そもそも支援とは？特に配慮すべき点とは？

なぜ支援に取り組む？

学生生活上の困難（一例）

- トランスジェンダー
氏名、名簿、トイレ、宿舍、実習、等
- レズビアン/ゲイ/バイセクシュアル等
カミングアウトにまつわる友人・人間関係、等

個人差はあるが「困難」は少なくない

日常生活においてさまざまなリスクや
困難を抱える可能性が高い

**支援体制/環境を
整えるべき理由の1つ**

メンタルヘルス/リスクマネジメント/権利擁護的側面

「サポート」の視点

「エンパワーメント」の視点

個人の能力の発揮

||

多様な個人の尊重

ダイバーシティ・マネジメント的側面

どんな支援が必要か？

筑波大学を例に

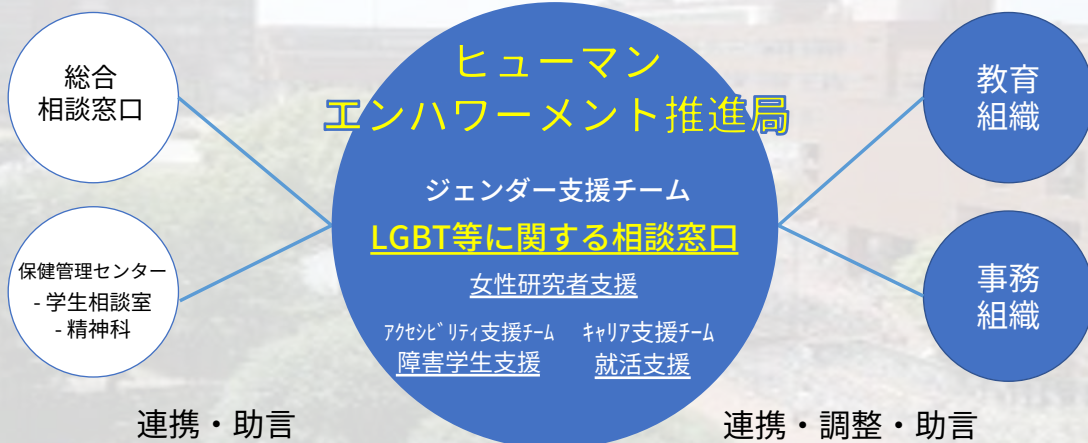
支援体制

筑波大学ダイバーシティ基本理念

「1. 性別、国籍、年齢及び障がいの有無にかかわらず、すべての人の人権の尊重、個人の尊厳の確立」

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターにおける学生支援の共通理念

→ 困難さ（苦しさ）やつまずきのみに対してアプローチするのではなく、強みを伸ばす教育的支援



LGBTQ+に関する 筑波大学の基本理念と 対応ガイドライン

2017年3月策定/公表
2018年3月改訂/公表
2019年3月英語版策定
2020年3月改訂/公表
2024年3月改訂/公表

筑波大学ヒューマンエンパワメント推進局HP
もしくは「筑波大学」「LGBT」で検索
<https://diversity.tsukuba.ac.jp/lgbtq>



ガイドライン策定のねらい

大学としての姿勢を示す

ガイドライン策定の留意点

1. 当事者の声を反映させる
2. 具体的な実践項目に基づく
3. 積極的な意味を持たせる

1. 当事者の声を反映させる

「支援のつもりが・・・」

当事者のニーズとの乖離
大学→当事者への一方通行

2. 具体的な実践項目に基づく

「大学生活は有限」

今、目の前で困っている
学生の助けとなるように

3. 積極的な意味を持たせる

「かわいそうな存在」
「支援を受けるべき存在」

ではない

筑波大学におけるLGBTQ+の 性自認及び性的指向を理由とした 差別の禁止及び解消に関する基本理念

建学の理念に「開かれた大学」を掲げ、教育・研究に多様性と柔軟性を追究する筑波大学にあっては、**本来違いを持つ学生及び教職員がすべて尊重される**ことは言うまでもありません。

少数者にあたるLGBTQ+（Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender・Questioning/Queer及び他のセクシュアリティを含む）への対応について、我が国における大学改革を先導する本学は、以下の方針により責任を持って対応します。

少数者を 差別しません

性自認や性的指向は本学が重視する本人の能力とは無関係であり、少数者ということで差別や嫌がらせがあってはなりません。これらは本学のダイバーシティ基本理念に反するものです。

性自認や性的指向に関わる情報やその開示・非開示、またそれらの表現は、当事者の意思でコントロールされるものであり、他者から不当に侵害されることがあってはなりません。

自己決定を 尊重します

修学・サービスの 妨げを取り除きます

LGBTQ+の少数者にとって修学・サービスの妨げとなる事柄は、適切な過程による合意形成を経て、合理的な範囲で取り除かれなければなりません。

地球規模課題の解決の先頭に立つ本学において、個性と多様な能力が発揮されることは、未来地球社会に求められるイノベーションの創出という目標の出発点にあります。

そのため、本学は学生、教職員を問わず全構成員を対象とした上記の基本理念を掲げ、さらに以下の具体的な対応を行います。

対応ガイドライン

ガイドラインの項目

- 1) 相談について
 - 2) 氏名・性別の情報とその管理について
 - 3) 授業について
 - 4) 学生生活について
 - 5) 就職活動・キャリア支援について
 - 6) 周囲の対応、特にカミングアウトについて
 - 7) 教職員への対応について
- 付録- ツールボックス

1) 相談について

相談窓口

- 推進局内に開設

「LGBTQ+に関する相談窓口」

対象：学生・教職員・家族

**カミングアウトを
受けた側も利用可能**



2) 氏名・性別の情報とその管理について

氏名の変更

- 本人の申し出により通称名を教育組織内等で使用することが可能
- 一定の条件のもと、申立書の提出により学籍簿の氏名を、自認する性に基づく氏名とすることが可能

性別の変更

- 戸籍の性別の変更に伴う場合を除いて、学籍簿等での性別の変更は対応できない（令和6年3月時点）
- ただし、性別情報が限られた範囲で、慎重に取り扱われることを推進

2) 氏名・性別の情報とその管理について

性別情報の取扱い → **慎重な取扱を！**

- **名簿**

アウトティング防止

学生に配布・掲示する場合、原則としていかなる文書についても性別欄を除外して配布・掲示

- **TWINS**（履修/成績等の管理システム）

性別情報へのアクセス：指導教員・組織長・教務担当／学生担当の職員

6) 周囲の対応、特にカミングアウトについて

カミングアウト

他の人に自分のセクシュアリティを告白すること



アウトティング

ある人のセクシュアリティを本人の許可無く（意図せず）第三者に明かすこと（開示されること）

6) 周囲の対応、特にカミングアウトについて

- 故意や悪意によるアウトティングは
ハラスメントであることを認識する



セクシュアリティの情報はプライバシー
(LGBT等に関する情報だから…は理由にならない)

「善意のつもり」や「意図しない」
アウトティングも

3) 授業について

体育の履修、更衣室、用具

シラバスの備考欄に男女別要素を記載。トリム運動に関する履修を含む事前相談にて対応可。更衣室や用具等についても同様。

学外実習（教育実習等）の履修

事前相談可。教育組織や実習先とともに個別での対応を検討。

3) 授業について

授業におけるグループ分け

性別によるグループ分けが不必要に行われないよう周知

授業等における呼称

外国語授業に関してはCEGLOCの協力のもと、学生の希望に沿った呼称対応や、全体としてMrやMissを使用しない方針

基本的に学生に対しては「さん」を推奨

4) 学生生活について

定期健康診断

保健管理センターの協力のもと個別対応

学生宿舎

学生生活課の協力のもと個別対応

多目的トイレ

アクセシビリティ担当の協力のもと個別に情報提供や相談

4) 学生生活について

入学式・卒業式の服装と身なり

多様なアイデンティティに基づく服装や身なりでの参加を可として対応

5) 就職活動・キャリア支援について

就職活動・インターンシップ

キャリア担当と連携。キャリアカウンセラーとともに考えることが可能。

LGBTQ+の当事者にとっての就職活動

当事者にとって就職活動は大きな転機
(直面化する壁) → ワークシートを準備

| 就職活動の前にシート | | 記入日 | 年 | 月 | 日 |
|--|---|--|---|---|---|
| チェックは該当する箇所は全て入れ、該当しない箇所には入れません。必要ない事項は記入しなくて結構です。 | | | | | |
| (1) キャリアの希望 | <input type="checkbox"/> ①大きな組織で働きたい(大企業、公務員、教員等) <input type="checkbox"/> ②中小の組織で働きたい(中小企業、一般的なNPO等) <input type="checkbox"/> ③私という個人の単位で働きたい(個人事業主、フリーランス等) <input type="checkbox"/> ④組織の大小といった枠にとらわれずに働きたい <input type="checkbox"/> ⑤起業したい <input type="checkbox"/> ⑥その他() | | | | |
| 上記の優先順位→1番目()2番目()3番目()それ以降() | | | | | |
| (2) 働き方の希望 | <input type="checkbox"/> ①一貫してマジョリティの人と変わらない働き方をしたい <input type="checkbox"/> ②できるだけマジョリティの人と変わらない働き方をしたい <input type="checkbox"/> ③当事者として必要な支援を必要に応じて受けながら働きたい <input type="checkbox"/> ④就労という形態にこだわらない <input type="checkbox"/> ⑤その他() | | | | |
| 上記の優先順位→1番目()2番目()3番目()それ以降() | | | | | |
| (3) 就職において、私自身について重視すること | <input type="checkbox"/> ①条件(給与、配属等)を妥協しても、自分のアイデンティティや理想を極力通すこと <input type="checkbox"/> ②アイデンティティの面で多少妥協しても、よい待遇(給与、配属等)を得ること <input type="checkbox"/> ③アイデンティティと条件のどちらも極力妥協せず最適なバランスを取ること <input type="checkbox"/> ④わからない、自分の中で答えが出ていない <input type="checkbox"/> ⑤そもそも気にしていない <input type="checkbox"/> ⑥その他() | | | | |
| 上記の優先順位→1番目()2番目()3番目()それ以降() | | | | | |
| (4) 就職先全般に求めること | (a) LGBT等について | <input type="checkbox"/> ①理解がある <input type="checkbox"/> ②支援制度がある(希望する氏名、同性パートナー等) <input type="checkbox"/> ③不利益への救済制度がある <input type="checkbox"/> ④理解・支援について認証を得ている <input type="checkbox"/> ⑤当事者のロールモデルになる人がいる <input type="checkbox"/> ⑥アライ(連帯者)がいる <input type="checkbox"/> ⑦当事者への差別や不適切な言動に対し、毅然とした対応が取られる <input type="checkbox"/> ⑧当事者の能力を最大限に発揮させてくれる <input type="checkbox"/> ⑨LGBT等という概念自体を持たない/感じさせない <input type="checkbox"/> ⑩LGBT等に限らず、マイノリティへの適切な意識や対応がある <input type="checkbox"/> ⑪その他() | | | |
| | (b) 社員等に対する方針 | <input type="checkbox"/> ①LGBT等に限らず、個人が最大限重視される <input type="checkbox"/> ②LGBT等であるかに関係なく、成果や能力を公平に評価してくれる <input type="checkbox"/> ③LGBT等に限らず、マイノリティを積極的に採用・登用している <input type="checkbox"/> ④同業他社より待遇がよい <input type="checkbox"/> ⑤やりがいや生きがいを与えてくれる <input type="checkbox"/> ⑥家族的な一体感や連帯感の重視 <input type="checkbox"/> ⑦プライベートに介入しない <input type="checkbox"/> ⑧その他() | | | |
| 上記の優先順位→1番目()2番目()3番目()それ以降() | | | | | |

| 「カミングアウトの前に」シート | | 記入日 | 年 | 月 | 日 |
|--|--|-----|---|---|---|
| このシートは、相手別に(必要に応じて)複数枚作成します。チェックは複数可で、必要ない事項は記入しません。 | | | | | |
| カミングアウトの相手は? | | | | | |
| どう相手? | <input type="checkbox"/> ①友人(仲のよい) <input type="checkbox"/> ②知人(友人ほどでない) <input type="checkbox"/> ③恋人やパートナー <input type="checkbox"/> ④クラスや研究室メンバー <input type="checkbox"/> ⑤サークルなどのメンバー <input type="checkbox"/> ⑥家族 <input type="checkbox"/> ⑦授業担当教員 <input type="checkbox"/> ⑧指導教員 <input type="checkbox"/> ⑨カウンセラー/医師 <input type="checkbox"/> ⑩同僚(仕事やアルバイトの) <input type="checkbox"/> ⑪事務職員(どの担当?→) <input type="checkbox"/> ⑫その他() | | | | |
| その人にこのシートを見せる? | <input type="checkbox"/> ①見せる <input type="checkbox"/> ②必要なら見せる(どういう場合?→) <input type="checkbox"/> ③見せない <input type="checkbox"/> ④その他() | | | | |
| (1) この人に何を知らせる? | <input type="checkbox"/> ①性的指向(どういう性を愛するか) <input type="checkbox"/> ②性自認(自分はどういう性か) <input type="checkbox"/> ③社会的な性の表現(服装など) <input type="checkbox"/> ④恋愛指向(どういう性に心ときめくか) <input type="checkbox"/> ⑤身体的特徴 <input type="checkbox"/> ⑥精神的特徴 <input type="checkbox"/> ⑦悩みごと() <input type="checkbox"/> ⑧その他() | | | | |
| (1-a) 知らせる内容 | | | | | |
| (2) いつ知らせる? | <input type="checkbox"/> ①いま <input type="checkbox"/> ②できるだけ早く <input type="checkbox"/> ③特には決めないが必要な時に <input type="checkbox"/> ④一定の時間が経ってから(どんな時?→) <input type="checkbox"/> ⑤その他() | | | | |
| (3) どう知らせる? | <input type="checkbox"/> ①対面 <input type="checkbox"/> ②電話 <input type="checkbox"/> ③手紙 <input type="checkbox"/> ④電子メール <input type="checkbox"/> ⑤メッセージサービス(LINE等) <input type="checkbox"/> ⑥ SNS(どの?→) どの範囲で?→) <input type="checkbox"/> ⑦その他() | | | | |
| (4) カミングアウトのとき、どう接してほしい? | <input type="checkbox"/> ①ただ聞いてほしい <input type="checkbox"/> ②自分の状況を理解してほしい <input type="checkbox"/> ③私をよく知ってほしい <input type="checkbox"/> ④感想を教えてください <input type="checkbox"/> ⑤肯定的なアドバイスがほしい <input type="checkbox"/> ⑥否定的であっても何でも言ってほしい <input type="checkbox"/> ⑦わからないことがあれば興味してほしい <input type="checkbox"/> ⑧その他() | | | | |
| (5) カミングアウトの後、どう対応してほしい?(何のためにカミングアウトする?) | <input type="checkbox"/> ①特に何も必要ない <input type="checkbox"/> ②受け止めてくれればよい <input type="checkbox"/> ③今まで通り接してほしい <input type="checkbox"/> ④話をしてほしい・相談に乗ってほしい <input type="checkbox"/> ⑤困っていることをやめてほしい(何を?→) <input type="checkbox"/> ⑥専門家などを紹介してほしい <input type="checkbox"/> ⑦他の人へのカミングアウトに協力してほしい <input type="checkbox"/> ⑧支援してほしい(何を?→) <input type="checkbox"/> ⑨その他() | | | | |

| 「カミングアウトされたとき」シート | | 記入日 | 年 | 月 | 日 |
|--------------------------------|--|-----|---|---|---|
| チェックは複数可で、該当しない/必要ない事項は記入しません。 | | | | | |
| 誰からのカミングアウト? | <input type="checkbox"/> ①恋人・パートナー <input type="checkbox"/> ②親しい友人 <input type="checkbox"/> ③知人 <input type="checkbox"/> ④クラスや研究室のメンバー <input type="checkbox"/> ⑤サークルのメンバー <input type="checkbox"/> ⑥家族 <input type="checkbox"/> ⑦同僚 <input type="checkbox"/> ⑧指導・担当する学生 <input type="checkbox"/> ⑨その他() | | | | |
| (1) カミングアウトされたこと | <input type="checkbox"/> ①性的指向(どういう性を愛するか) <input type="checkbox"/> ②性自認(自分はどういう性か) <input type="checkbox"/> ③社会的な性の表現(服装など) <input type="checkbox"/> ④恋愛指向(どういう性に心ときめくか) <input type="checkbox"/> ⑤身体的特徴 <input type="checkbox"/> ⑥精神的特徴 <input type="checkbox"/> ⑦悩みごと() <input type="checkbox"/> ⑧その他() | | | | |
| (1-a) その内容 | | | | | |
| (1-b) いつ? | | | | | |
| (1-c) どんな手段? | <input type="checkbox"/> ①対面 <input type="checkbox"/> ②電話 <input type="checkbox"/> ③手紙 <input type="checkbox"/> ④電子メール <input type="checkbox"/> ⑤メッセージサービス(LINE等) <input type="checkbox"/> ⑥ SNS(どの?→) どの範囲で?→) <input type="checkbox"/> ⑦偶発 <input type="checkbox"/> ⑧その他() | | | | |
| (2) カミングアウトの際に要望された接し方 | <input type="checkbox"/> ①ただ聞いてほしい <input type="checkbox"/> ②自分の状況を理解してほしい <input type="checkbox"/> ③私をよく知ってほしい <input type="checkbox"/> ④感想を教えてください <input type="checkbox"/> ⑤肯定的なアドバイスがほしい <input type="checkbox"/> ⑥否定的であっても何でも言ってほしい <input type="checkbox"/> ⑦わからないことを興味してほしい <input type="checkbox"/> ⑧特に何も言われなかった <input type="checkbox"/> ⑨その他() | | | | |
| (2-a) その時どのように自分が接したか? | | | | | |
| (3) カミングアウト後について要望された対応 | <input type="checkbox"/> ①特に何も必要ない <input type="checkbox"/> ②受け止めてくれればよい <input type="checkbox"/> ③今まで通り接してほしい <input type="checkbox"/> ④困っていることをやめてほしい(何を?→) <input type="checkbox"/> ⑤専門家などを紹介してほしい <input type="checkbox"/> ⑥他の人へのカミングアウトに協力してほしい <input type="checkbox"/> ⑦支援してほしい(何を?→) <input type="checkbox"/> ⑧特に何も言われなかった <input type="checkbox"/> ⑨その他() | | | | |
| (3-a) 今後自分がどのようにしたいか? | | | | | |

課題も山積

大学からの一方的な企画

当事者視点／学生視点に配慮しつつも限界

マンパワーの決定的な不足

教職員だけの企画／運営に限界

大学からの一方的な企画

当事者視点／学生視点に配慮しつつも限界

学生との協働に挑戦

学生をピアスタッフとして雇用

マンパワーの決定的な不足

教職員だけの企画／運営に限界

何から始めるか

知ること

まとめ

- 「サポート」と「エンパワーメント」の双方の視点から
- 基本は“個人を尊重”する
- 学生との「協働・共創」が鍵となるはず

最後に

LGBTQは特別な存在か？

「多様性」は「私」の外に存在するの？

「私」も多様な存在のひとつ。

何かあれば 一緒に 考えてみる